

## 平成30年度 学校評価アンケート(評価)結果について

### 1. 生徒アンケート集計と分析

質問項目	重要度	実現度
係やそうじ、委員会の仕事がしっかりできている。	6.4	6
学校のきまりや約束事を守っている。	6.5	5.9
学校に行くことが楽しい。	6.4	5.7
友だちに嫌な思いをさせないようにしている。	6.7	5.8
先生や友だちから大切にされていると感じる。	6.3	5.5
家族と過ごす時間を大切にしている。	6.3	5.5
授業に必要な準備をし、前向きに授業に参加している。	6.7	5.5
礼儀や言葉遣いに気をつけている。	6.5	5.4
自分から進んであいさつをしている。	6.3	5.2
家の手伝いをするなど、家族の一員としての役割を果たしている。	6.2	5
困ったことは、先生や家族に相談している。	6.1	4.8
学校からの配布物は保護者に渡している。	6.5	5
平日課題の取り組みや、家庭学習(塾や家庭教師の時間を含む)に、平均して1日1時間以上取り組んでいる。	6	4.5
授業の内容はよくわかる。	6.8	4.9
早寝・早起き・朝ごはんなど規則正しい生活ができている。	6.4	4.7
ケータイ・スマホ・ゲーム等の使い方や時間について、ルールを決めて使用している。	5.7	4.1
1日平均30分以上(朝読書を含む)読書をしている。	4.9	2.9

#### ○数値の計算方法について

重要度「とても重要である」…7「やや重要である」…5「あまり重要でない」…3 「重要でない」…1

実現度「とても出来ている」…7「やや出来ている」…5「あまり出来ていない」…3「出来ていない」…1

※達成度が高い(重要度が高く、重要度と実現度の差が小さい)項目の順に上から並べてあります。

中間評価との比較(本年度より新しいアンケートで昨年度とは比較できない)をすると、実現度が上がっている項目は「学校に行くことが楽しい」「先生や友だちから大切にされていると感じる」「家の手伝いをするなど、家族の一員としての役割を果たしている」「困ったことは、先生や家族に相談している」でした。特に1年生は中学校生活にも慣れ、学校の友だちや先生といい関係が築けている傾向が見られます。また、思春期を迎える中学生にとって、ご家族の支えで頑張れていることが結果からうかがえます。逆に、実現度が下がっている項目は「学校の決まりや約束事を守っている」「礼儀や言葉遣いに気をつけている」「自分から進んであいさつしている」「学校からの配布物は保護者に渡している」でした。学校に慣れていく中で、少しルーズさが出てきているのではないかと感じます。リラックスした雰囲気の中でも、やるべきことはしっかりやるということを、新年度に向けて高めていける神川中学校の生徒であってほしいと思います。

## 2. 保護者アンケート集計と分析

質問項目	重要度	実現度
子どもは学校に楽しく通っている。	6.8	5.8
子どもに、友だちを大切にしよう働きかけをしている。	6.8	5.6
子どもが先生や友だちから大切にされていると感じている。	6.7	5.4
家族で過ごす時間を大切にしている。	6.5	5.2
子どもに、きまりや約束事を守るよう働きかけをしている。	6.8	5.3
子どもに、礼儀や言葉遣いに気をつけるよう働きかけをしている。	6.7	5
子どもに、自ら進んであいさつするよう働きかけをしている。	6.5	4.9
子どものことについて、保護者が学校に相談しやすい雰囲気がある。	6.4	4.8
学校からの配布物やホームページ等で、学校の様子が伝わっている。	6.1	4.6
子どもが学習内容をどの程度理解しているかをテスト結果や家庭学習などを通して把握しようとしている。	6.5	4.7
子どもが早寝・早起き・朝ごはんなど規則正しい生活ができるよう働きかけをしている。	6.6	4.7
子どもに、授業に集中して取り組むよう働きかけをしている。	6.6	4.6
子どもに家族の一員としての役割(家の手伝いなど)を作るようにしている。	6.3	4.4
子どもに、家庭学習(塾や家庭教師の時間を含む)の習慣が定着するよう働きかけをしている。	6.4	4.3
学校行事や授業参観、PTA活動等に積極的に参加するようにしている。	5.4	3.6
子どものケータイ・スマホ・ゲーム等の使い方や時間について、ルールを設定している。	6.3	3.8
子どもに、読書の習慣が定着するよう働きかけをしている。	5.7	3.1

### ○数値の計算方法について

重要度「とても重要である」…7「やや重要である」…5「あまり重要でない」…3 「重要でない」…1

実現度「とても出来ている」…7「やや出来ている」…5「あまり出来ていない」…3「出来ていない」…1

※達成度が高い(重要度が高く、重要度と実現度の差が小さい)項目の順に上から並べてあります。

中間評価と年間評価を比較すると大きな変化は見られなかったものの、17項目中7項目で実現度が上昇するという素晴らしい結果となりました。皆様の子どもたちへの願いや声かけはじわじわと子どもの心にしみていくのもので、反抗的な態度をとることもある年頃ですが、あきらめずに声かけを続けていただきたいと思います。

達成度で前回より大きく順位を上げた項目は、「子どものことについて、保護者が学校に相談しやすい雰囲気がある」でした。この結果は学校としても、とても嬉しく、教育活動において学校と保護者との密なる連携は不可欠であり、大変心強い思いがしています。

今後の課題としては、実現度の低い「学校行事や授業参観、PTA活動等に積極的に参加するようにしている」「子どものケータイ・スマホ・ゲーム等の使い方や時間について、ルールを設定している」「子どもに、読書の習慣が定着するよう働きかけをしている」の3つの項目について、いかに実現度を上げていくかであり、今後、学校行事や授業参観などに保護者の方々に参加していただけるよう努力することや、連携を図りながら啓発活動を積極的に行っていきたいと考えています。